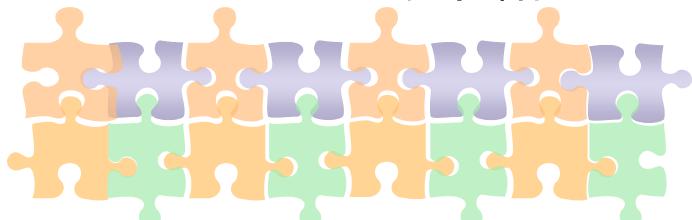
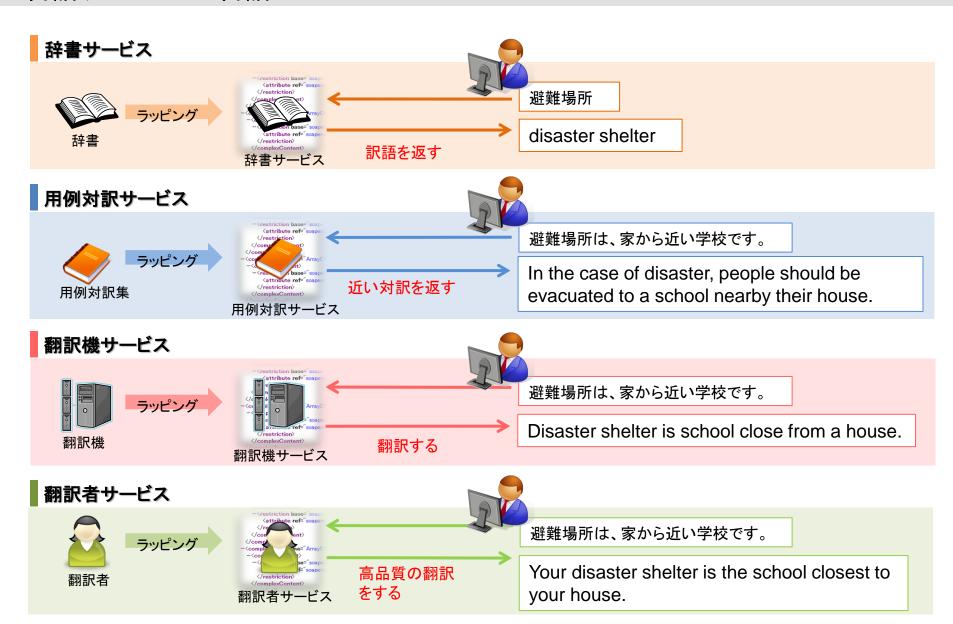
言語グリッド ーサービス指向の多言語基盤ー



石田 亨 京都大学社会情報学専攻

言語リソースから言語サービスへ



グローバルサービスとコミュニティサービスの連携



日本人 教員

授業料は無償ですが、教材費や給食費は 必要です。

(Tuition is free, but cost of textbooks and school meals is required)





保護者



日英翻訳



英葡翻訳



学校用 辞書



日本語 形態素解析



ポルトガル語 形態素解析



対訳用例



用例ベース 機械翻訳



日本語 構文解析



最良翻訳機 選択



通訳者により 支援



折り返し翻訳



ポルトガル語 構文解析



文間 類似度評価

翻訳連携•辞書連携

用例ベース翻訳

最良翻訳選択

言語グリッドのコンセプト

言語資源から言語サービスへ 世界各地の大学・研究機関・企業が言語サービスを提供



世界中の言語資源(機械翻訳や辞書など)を共有

シュツットガルト大学 ドイツ人工知能研究所 イタリア国立研究所

韓国国民大学 国立情報学研究所 中国科学院・ MICT NTT研究所 ベトナム国家大学 アジア防災センター タイ国立研究所 インドネシア大学 プリンストン大学

Google

言語資源を集める必要がない。所有から利用へ。

言語グリッドの現状

参加組織(18カ国144組織が参加)

【大学】

大阪大学, 関西大学, 関西学院大学, 京都大学, 東北大学, 長岡技術科学大学, 名古屋大学, はこだて未来大学, 北海道大学, 立命館大学, 早稲田大学, 和歌山大学 カトリック大学(韓国),韓国国民大学(韓国),上海交通大学(中国),インドネシア大学, シュツットガルト大学(ドイツ),清華大学(中国),プリンストン大学(アメリカ), ケベック大学(カナダ),コペンハーゲン大学(デンマーク)など

【研究機関】

DFKI(ドイツ),CNR(イタリア),中国科学院,NECTEC(タイ),国立情報学研究所,NTT研究所など

[NPO/NGO]

愛知県国際交流協会、アジア防災センター、NPOパンゲア、NPO多文化共生センターきょうと、 川崎市総合教育委員会、川崎市立富士見中学校、多言語防災情報研究コンソーシアムなど

【企業】(社会貢献または言語資源の提供)

Google inc., 東芝, 沖電気など

言語サービス(94サービスを共有)

【機械翻訳】

Google Translate (51言語), J-Server (日英韓中), WEB-Transer (日中韓英仏独伊西葡), 東芝 (英中), 沖電気 (日英), Parsit (英->泰)

【対訳辞書】

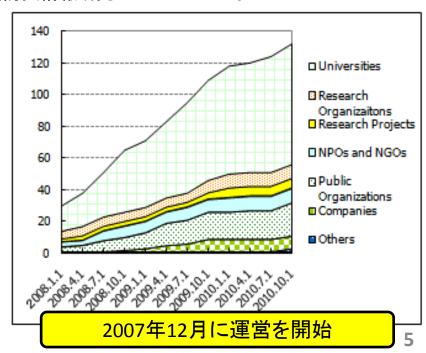
EDR, ライフサイエンス辞書, 学術辞書, 防災用語集, Wikipedia辞書, コミュニティ辞書など

【用例集】

医療用例対訳集,教育用例対訳集など

【形態素解析】

日中韓英仏独伊西蘭葡露



参加型デザインによるアプリケーションの開発

プロジェクト開始時にユーザグループ「言語グリッドアソシエーション」を発足



中学校での対面チャットシステム(2007) (開発は修士学生3名X1.5週で完了)





多言語医療受付システム(2007)

(開発は和歌山大学と多文化共生センターきょうと)

21年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を首相官邸で受賞



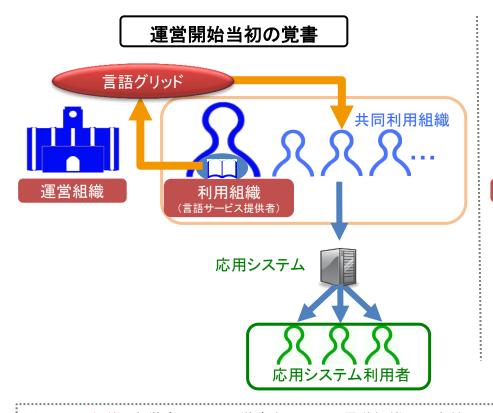
国際NPOのための多言語掲示板(2008)

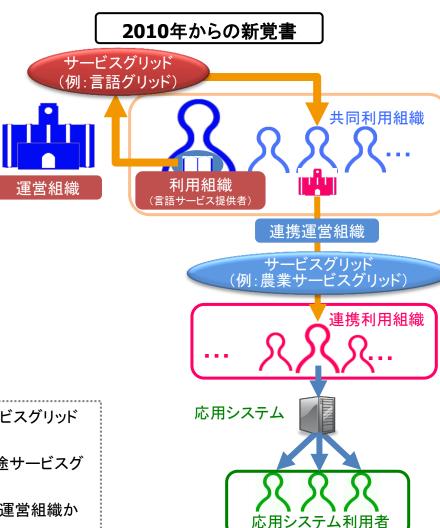
(NPO パンゲア)

サービスグリッド の連邦制運営

サービスグリッドの連邦制運営

サービス(知財)を扱うための国際的合意に基づく制度設計同種・異種サービスグリッドの連携を可能とする制度を提案・実施





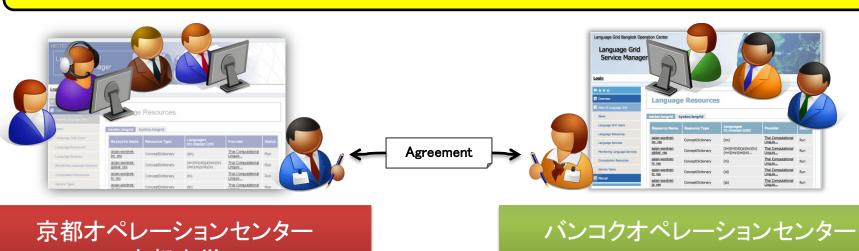
共同利用組織:本覚書と同一の覚書を用いて、運営組織から本件サービスグリッド の利用許諾を受けている組織

連携運営組織:準拠法を除き、本覚書と同一内容の覚書を用いて、別途サービスグ リッドを運営している共同利用組織

連携利用組織:準拠法を除き本覚書と同一内容の覚書を用いて、連携運営組織からサービスグリッドの利用許諾を受けている利用者

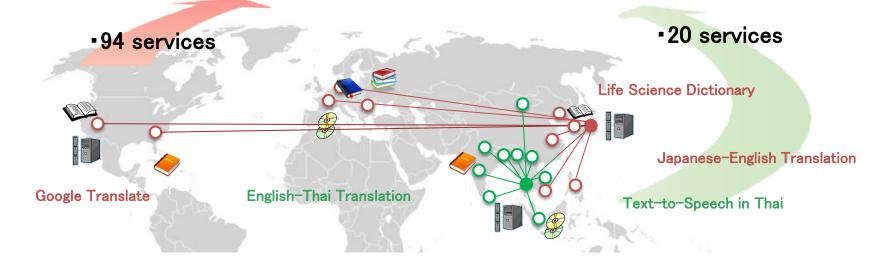
言語グリッドの連邦制運営

アジア各地に言語グリッドオペレーションセンターを構築



京都大学

NECTEC



異種サービスグリッド間連携を実現

サービスグリッド基盤ソフトは「言語非依存」。多様な応用領域のサービスグリッドを構築可能。

医療知識サービス グリッド

知識提供サービスの実現を容易に

e-Learningグリッド



相互利用により 複合的な 知識提供サービス を実現

知識提供サービスの実現を容易に

グリッド

農業知識サービス







知識提供サービスの多言語化を実現

言語グリッド

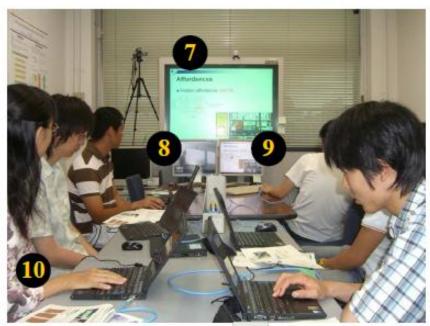
具体例:清華大学とのサービス連携

京都大学と清華大学で異種サービスの接続実験を実施 清華のスマートクラスルームをサービス化し言語グリッドと接続して多言語マートクラスルームを実現

Open Smart Classroom in Tsinghua



Open Smart Classroom in Kyoto





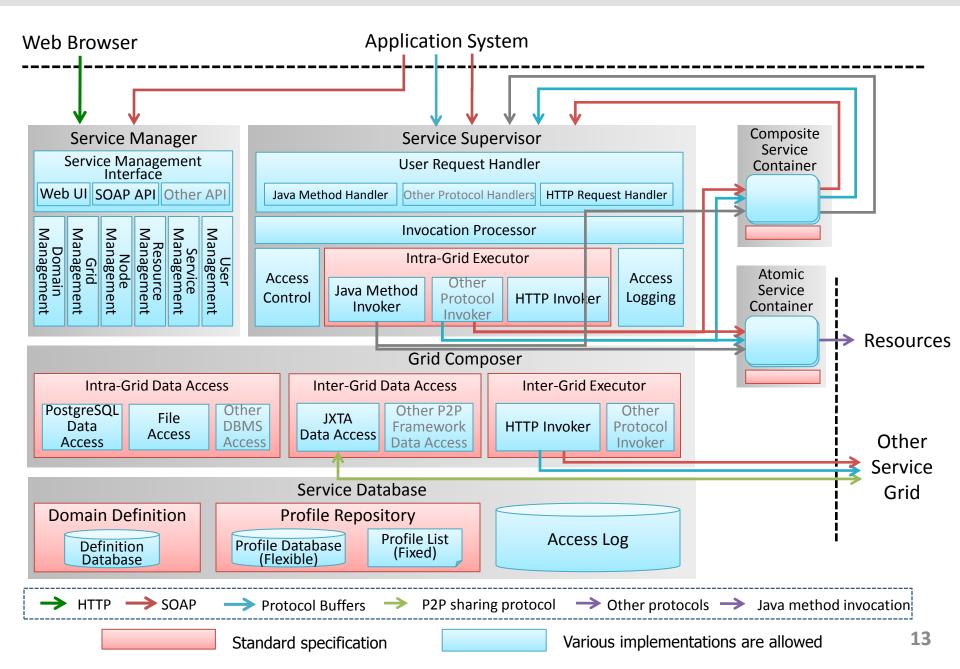


言語グリッド



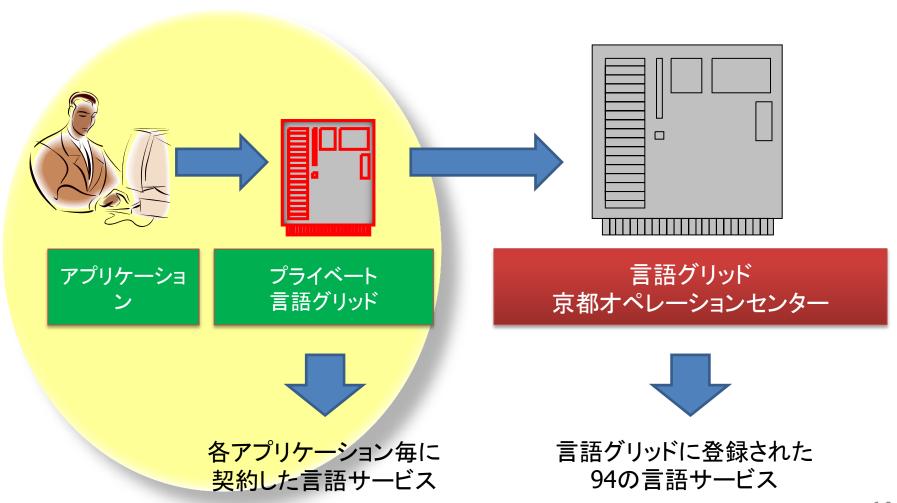
言語グリッドのビジネス化手順

オープンソースソフトウェアとして公開



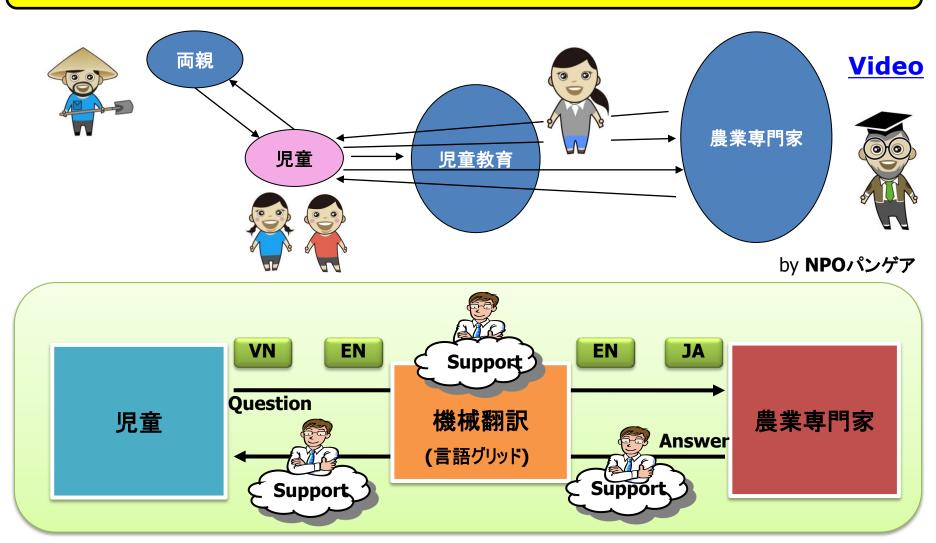
プライベート言語グリッド

各アプリケーション専用に言語グリッドを構成。



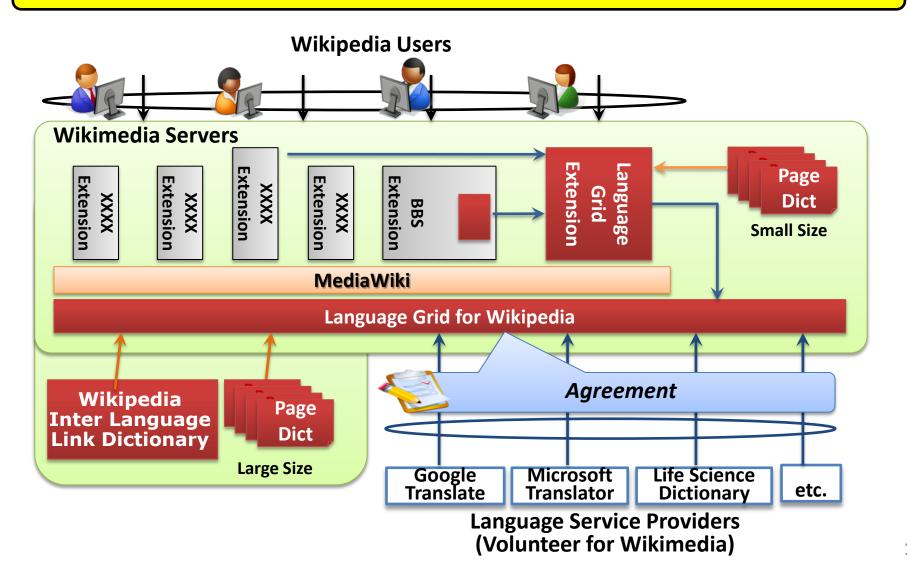
具体例: ベトナム農業支援でのプライベート言語グリッドの併用

ベトナムにプライベート言語グリッドを立ち上げ処理の高速化を実現



具体例: Wikimedia財団でのプライベート言語グリッドの構築

Wikimedia BBS is multilingualized for supporting Wikipedia article translation



まとめ

•到達点

- •多言語環境に対する日本からの先導的な提案
 - •言語資源のサービス化を5年前から提唱
 - •アジアへの拠点(オペレーションセンター)展開
 - •欧米の言語資源研究グループとの協調
 - •全てのソフトウェアのオープンソース化
- •具体的なユースケース
 - •ユーザ参加型のデザイン手法を実践
 - •言語グリッドアソシエーションの形成
 - •ベトナム農業支援、Wikimedia財団などへの適用

•課題

- •継続性の維持
 - •NICT言語グリッドプロジェクトの終結
 - •京大(オペレーションセンター)での契約業務の負担
- •アジア言語の保存と利用
 - •ユネスコやアジア各大学との協調
- •応用とビジネス化
 - •コンソーシアム、NPO、企業体の形成